

各 位

上場会社名 株式会社 テイン  
 代表者 代表取締役社長 市野 諒  
 (コード番号 7217)  
 問合せ先責任者 取締役 那須 賢司  
 (TEL 045-810-5511)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、22年11月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,998	△6	△19	△18	△3.48
今回修正予想(B)	2,883	△20	△23	△22	△4.27
増減額(B-A)	△114	△14	△4	△4	
増減率(%)	△3.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	3,083	△38	△33	△224	△41.28

#### 修正の理由

当期の業績につきましては、各種の景気刺激対策や新興国を中心とした海外経済の改善などを背景に緩やかながら景気は持ち直しの傾向が見られましたが、年度後半には経済政策の終了に伴う消費の息切れ感やデフレ傾向の強まり、また依然として厳しい雇用情勢や年度末を控えての急速な円高傾向など、自律回復にはほど遠い状況の中、東日本大震災の発生とこれに伴う電力供給の問題など、かつてないほど極めて厳しい経済環境を背景として、国内外の多くの地域で厳しい状況となりました。特に売上構成比の高い国内市場においては、個人所得の伸び悩みなどによる節約志向の高まりなどから用品市場においては需要の回復に遅れが見られ、それに呼応するような価格の低下やアジア地域での安価な競合品の台頭もあって、サスペンションについては、厳しい展開となりました。

このような情勢のもと、当社グループでは、国内市場はもとよりアジア地域を中心とした海外の全地域に対する販売活動を強力に推し進め、また低迷する消費マインドの改善を図るべくボリュームゾーンに向けた好感度の新製品を発売すると共に、次世代の新製品に向けた研究開発活動にも注力いたしました。他方、営業所の統合による合理化や、一層の収益体質の改善を図るための資材を中心とした原価低減活動などにも注力してまいりました。しかしながら、国内外におけるアフターパーツ市場全体の需要動向は概ね緩やかな回復基調にある中で急減な業績回復には至りませんでした。また、強い為替の円高傾向は海外における販売に水を差すこととなり、さらには期末に向けての最需要期に震災の影響などを受けたことなどから、通期の売上高、また営業利益、経常利益、当期純利益について計画を下回る見通しとなりました。

以上のことから、通期の連結業績予想数値を上表のとおり修正いたします。

以上